

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	35164
事業名	アイヌ伝統文化振興費					
評価担当課	所属	市)市民生活部 アイヌ施策課			電話番号	211-2277
施策名	年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	(現在の状況)体験プログラムや体験講座の実施やイベントを通じて情報発信等によりアイヌ文化の普及啓発に努めている。また、2021年3月に第2次札幌市アイヌ施策推進計画を策定し、同計画の基本理念である「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちなの実現」に向けて、各種施策を進めている。 (新たな課題や社会的ニーズ)2019年5月にアイヌ施策推進法が施行され、アイヌ施策を推進していくための環境に変化が生じているほか、2020年に白老町に民族共生象徴空間ウポポイがオープンするなど、アイヌ民族やアイヌ文化に対する関心が高まっている。また、「札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」が制定されるなど、共生社会の実現が求められている。 そのほか、国からはアイヌ人権啓発事業をはじめとする更なる事業の実施を求められている。
	事業内容(何を実施し)	アイヌの伝統的な生活様式や舞踊、歴史などを市民に紹介し、伝統文化の保存・継承・振興を図る。 ①小中高生団体系体験プログラム:アイヌ文化交流センターにおいて古式舞踊の披露等を行うプログラムを実施。95校参加。②小中高校生団体出前体験プログラム:体験プログラムでの参加が困難な学校に対し、出前方式でプログラムを実施。75校参加。③大型イベントと連携した情報発信:雪まつりにおいて舞踊披露。④アイヌ文化交流センターイベント・市民交流(輪踊り):アイヌ文化交流センターにおいて、古式舞踊の披露等を行うイベントを開催。16回・1,563人参加。⑤アイヌ文化体験講座:アイヌ文様刺しゅうや木彫り等、市民を対象としたアイヌ伝統文化の体験講座を開催。16回実施・211人参加。⑥アイヌ工芸品販売:地下鉄南北線大通駅コンコース横(出口5横)に常設販売店PORSEを令和6年12月16日に設置。⑦アイヌアートモニュメント設置事業:刺しゅう作品を制作し中央区役所に展示。⑧アイヌ伝統的生活空間の再生事業:アイヌゆかりの自然素材を育成するとともに、体験交流(民具・料理・子ども遊び)講座等において活用。計113人参加。⑨ウポポイ・ピリカコタン周遊バスツアー:30回催行。1,071人参加。⑩アイヌ関連施設バスツアー:2回催行。28人参加。⑪伝統楽器(ムックリ)調達:団体系体験プログラム(出前含む)において配布するムックリを購入。9,250本調達。⑫担い手育成講座:アイヌ民族を対象に知的財産権を学ぶ講座を実施。8人参加。⑬高齢者(エカン・フチ)の歴史体験記録:エカン・フチが有する知識・経験を記録として整理。1名の記録を実施。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	アイヌ民族の誇りが尊重されるまちなの実現
	他都市の状況	道内各自治体において同趣旨の事業を実施
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外

令和5年度決算額	64,686 千円	うち特定財源	45,335 千円	正規職員業務量	2.45 人工
令和6年度予算額	79,000 千円	うち特定財源	49,748 千円	正規職員業務量	2.45 人工
令和6年度決算額	68,994 千円	うち特定財源	39,805 千円	正規職員業務量	2.35 人工
令和7年度予算額	83,000 千円	うち特定財源	59,748 千円	正規職員業務量	2.35 人工

指標	アウトプット活動指標1	アイヌ文化交流センター来館者数		という活動、業務を行うことで			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		41,091	45,000	38,684	51,000	58,000	65,000
	アウトカム成果指標1	「個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保存・継承・振興な		という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
			74	74.5	75	76	77
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	成果指標については目標値を上回っており、活動指標については、令和6年度に落ち込みはしたが、センター来館者のうち展示室観覧者については増加傾向にある。引き続き、各種事業を実施することにより、「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちなの実現」に向け、アイヌ民族についての理解促進を図っていく。					
	アウトプット活動指標2			という活動、業務を行うことで			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
アウトカム成果指標2			という状態にしたい、成果を挙げたい				
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	引き続き、各種事業を実施することにより、「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちなの実現」に向け、アイヌ民族についての理解促進を図っていく。						